



150th Anniversary
AOMORI RINGO

りんご生産情報号外
(今冬の雪害対策について)

令和7年1月15日発表
青森県「農林水産力」強化本部

樹上の雪は早めに下ろそう！
雪に埋もれた枝を掘り上げよう！！
晴天が続く日を選んで、融雪促進剤を散布しよう！！
雪やネズミの被害を受けた樹は適切に処置しよう！！！！

令和7年1月3日9時現在、りんご研究所（黒石）の積雪深は159cmとなり、すでに枝折れ被害も確認されるなど、更なる被害の拡大が懸念される状況となっています。

仙台管区气象台が1月9日に発表した情報によると、東北地方では寒気の影響を受けにくいため、向こう1か月間の気温が平年より高くなると予想され、雪の沈降が進むと想定されます。

今後も引き続き、気象情報に十分留意するとともに、積雪や雪の沈降に伴う枝折れ等の発生に十分注意し、以下の対策に努めてください。

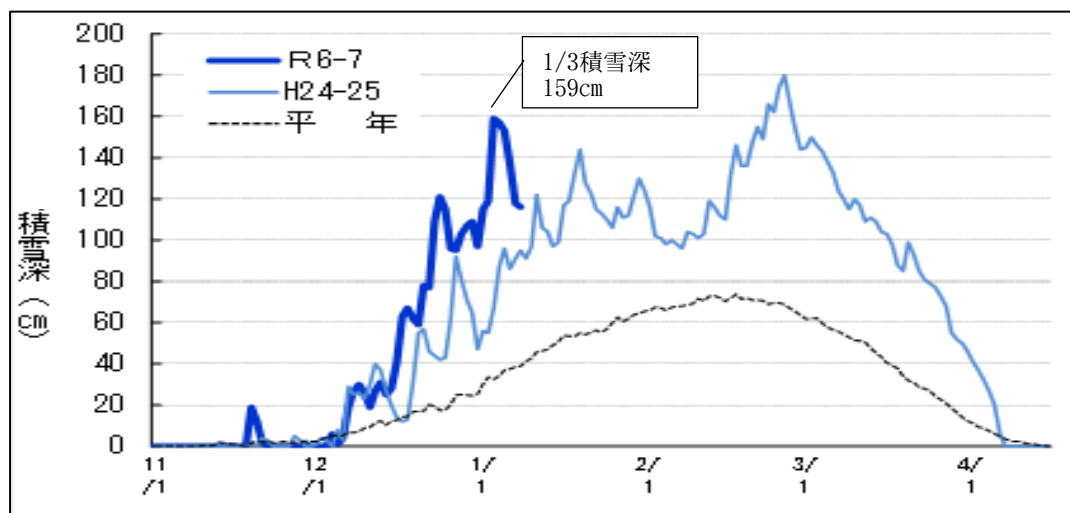
記

1 りんご研究所の積雪深の推移

令和6～7年の積雪は、雪害が多発した平成24～25年を上回るペースで推移している。

令和6年12月24日には積雪深が121cmとなり、それまでの記録であった97cm（平成26年）を更新し、12月の歴代1位となった。

令和7年1月3日には積雪深が159cmとなり、それまでの記録である153cm（平成24年）を更新し、1月の歴代1位となった。



2 作業の重点

(1) 樹上の雪下ろし

雪が新しく軽いうちに、樹上の雪下ろしを行う。

(2) 枝の掘り上げ

雪に埋もれた枝先は掘り上げるか、枝先を抜き上げ、その下の雪を踏み固める。なお、雪に埋まった枝の掘り上げが困難な場合は、下枝周辺を溝切りするかスコップで雪に切れ込みを入れ、沈降力の軽減に努める。

(3) 不要な枝の剪去

剪定で除去する見込みの枝が雪中に埋もれている場合は、早めに切り取り、塗布剤を塗るなどして切り口を保護する。

(4) 融雪の促進

晴天が数日続く日を選んで融雪促進剤を散布する。

(5) 野ネズミ対策

野ネズミによる被害を防ぐため、幹の周りの雪を踏み固める。食害が見られた場合は、被害の程度に応じて塗布剤を塗布する。



雪下ろし



枝の掘り上げ

提供：（地独）青森県産業技術センターりんご研究所

報道機関用提供資料	
担 当 課	りんご果樹課
担 当 者	生産振興グループ GM 小笠原 宜弘
電話番号	直通 017-734-9492 内線 5146
報 道 監	農林水産部 次長 栗林 豊 内線 4967

りんご園の 融雪促進に 努めましょう!!



今年は積雪量が非常に多く、既に一部の園地ではりんごの枝折れ被害が確認されています。

りんごの樹冠が埋もれ、下枝が雪に埋まった状態が長くなると、枝折れや裂開の他に、下枝の花芽の生育が遅れ、果実肥大に影響を及ぼすことから、りんご園の早期融雪に努めてください。

- ◆雪が新しく軽いうちに、樹上の雪下ろしを行いましょう。
- ◆雪に埋もれた枝を掘り上げるか、枝先を抜き上げ、その下の雪を踏み固めましょう。なお、雪に埋まった枝の掘り上げが困難な場合は、下枝周辺を溝切りするかスコップで雪に切れ込みを入れ、沈降力の軽減に努めましょう。
- ◆剪定で除去する見込みの枝が雪中に埋もれている場合は、早めに切り取り、塗布剤を塗るなどして切り口を保護しましょう。
- ◆晴天が数日続く日を選んで融雪促進剤を散布しましょう。
- ◆野ネズミによる被害を防ぐため、幹の周りの雪を踏み固めましょう。食害が見られた場合は、被害の程度に応じて塗布剤を塗布しましょう。



令和7年1月発行

青森県「農林水産力」強化本部 果樹部会（県りんご果樹課 TEL017-734-9492）